

市指定無形民俗文化財 鹿島神社の御船神事

1 日時

平成30年11月4日（日）午後1時30分～午後5時00分頃（予定）

2 場所

鹿島神社（牧之原市勝俣2022）

3 内容

市内4ヵ所の神社で行われる御船神事の一つで、大江八幡宮の御船神事と並んで最も古い歴史を持つと考えられています。発祥は江戸時代中期、一説に享保年間（1716-1735）といわれ、川崎湊・寄子湊の廻船問屋や漁師たちが、海運の興隆と海上の安全を願って始めたといわれています。

神事に使う御船は、江戸時代の商船である樽廻船を精巧に模したもので、全長は約2メートルあります。船若と呼ばれる青年たちは、この御船の船首と船尾を交互に持ち上げながら、神社から200メートルほど離れたお休み場まで練ります。かつての港の繁栄と習俗を伝える伝統行事として、市の無形民俗文化財に指定されています。

4 スケジュール（例年） ※時間前後の可能性あり

13:30頃 神事・練り

